

2020年5月13日
川崎汽船株式会社
株式会社 JERA
豊田通商株式会社
日本郵船株式会社

日本初の LNG バンカリング船が進水 ～2020 年秋から中部地区で Ship to Ship 方式による LNG 燃料供給を開始～

川崎汽船株式会社、株式会社 JERA、豊田通商株式会社、日本郵船株式会社（以下「4社」）は、セントラル LNG シッピング株式会社およびセントラル LNG マリンフューエル株式会社を通じて、中部地区における LNG 燃料供給事業を推進しております。このたび、セントラル LNG シッピング株式会社が発注し、川崎重工業株式会社の坂出工場（香川県）において建造中の、船舶向けの液化天然ガス（以下「LNG」）燃料を供給するための船舶（以下「LNG バンカリング船」）が進水いたしましたのでお知らせします。

本船は今後、エンジンをはじめとした各種機器を搭載する工程を経て、2020年9月末に国内で稼動する初めての LNG バンカリング船として竣工する予定です。営業開始後は、株式会社 JERA の川越火力発電所を拠点とし、中部地区において Ship to Ship 方式による船舶向け LNG 燃料の供給事業に従事します。

4社は引き続き、各社のノウハウと強みを活用して、中部地区における LNG 燃料供給体制を整えるとともに、船舶燃料の LNG 化を促進することで、環境負荷の低減に貢献してまいります。

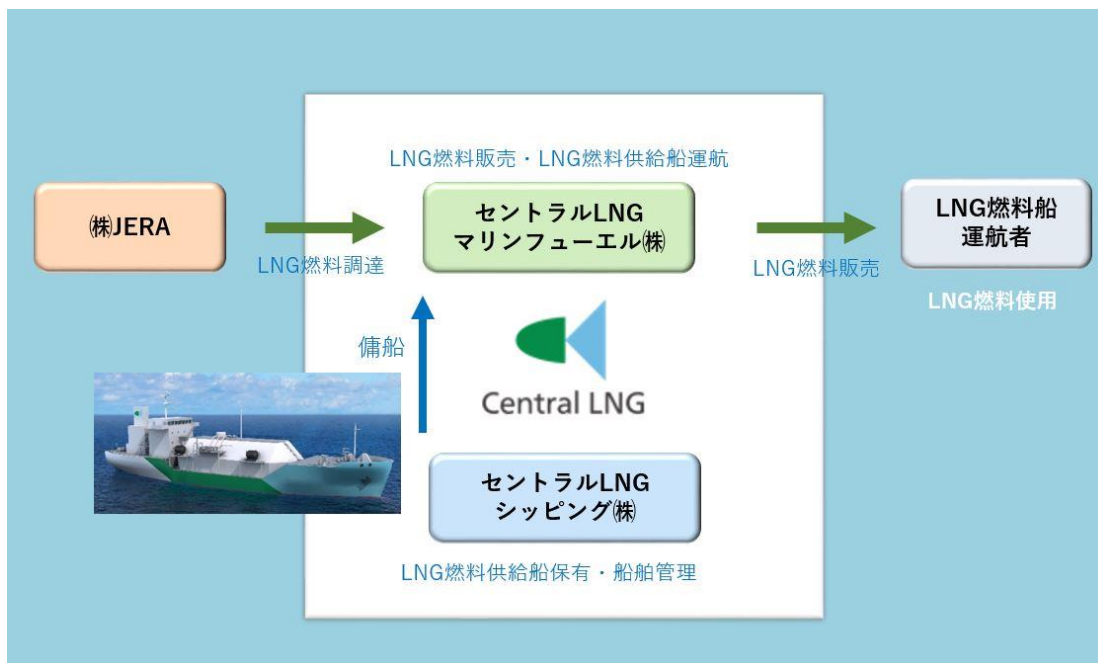


本船概要

LNG 積載容量	: 3,500 m ³
総トン数	: 4,100 トン
全長	: 81.7 メートル
全幅	: 18.0 メートル
竣工時期	: 2020 年秋
造船所	: 川崎重工業株式会社 坂出工場

進水時の様子

<供給体制>



※セントラル LNG シッピング株式会社およびセントラル LNG マリンフューエル株式会社については以下ホームページをご覧ください。

<https://central-lng.com/>

<LNG 燃料の特徴>

重油に比べ、硫黄酸化物 (SO_x) や粒子状物質 (PM) の排出は約 100%、窒素酸化物 (NO_x) は最大 80%、二酸化炭素 (CO₂) は約 30%の削減がそれぞれ見込める。国際的に強化される船舶の排出ガス規制への対応として重油に代わる有力な船舶燃料と位置づけられている。

以上

<参考リンク>

2018年7月6日発表：国内初のLNG燃料供給船、2020年に中部地区で稼動

https://www.kline.co.jp/ja/news/Liquefied_gas/liquefied_gas1752276555042091373/main/0/link/20180706JPFINAL.pdf

2018年5月10日発表：国内における船舶向けLNG燃料供給の事業化決定と合弁会社設立

https://www.kline.co.jp/ja/news/lng/lng-3247368541934586511/main/0/link/20180510_J.pdf

2018年1月26日発表：国内における船舶向けLNG燃料供給事業の検討を開始

<https://www.kline.co.jp/ja/news/lng/lng3702641859074512011.html>